（４）工事における社会的コストの低減
工事における環境改善（施策番号Ⅳ②）

鉄道を利用した建設発生土運搬

都市基盤整備公団
多摩ニュータウンの造成工事に伴う建設発生土運搬

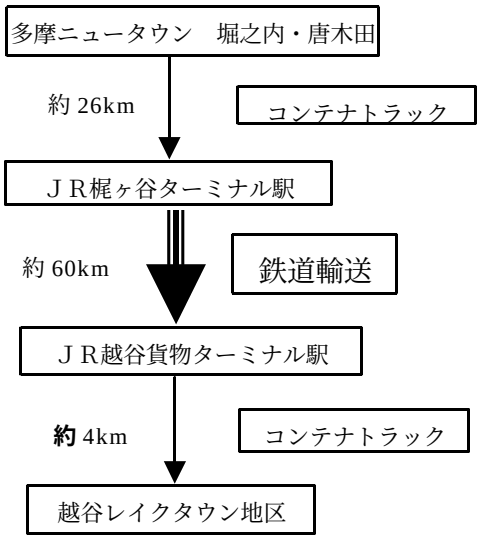
【施策の概要】

従来造成に伴う建設発生土の運搬の多くは、ダンプトラックにより実施してきたところでありますが、一部の土砂輸送を鉄道に切り替えることにより、輸送コストの削減、大型自動車交通量の削減による交通渋滞の解消、ＣＯ２、ＮＯｘ発生量の削減を図っています。

【施策のポイント】

建設発生土の輸送については、専用コンテナ車により現地から最寄りの貨物ターミナル駅まで輸送、コンテナを積み替えて鉄道により受入先近傍の貨物ターミナルまで輸送後、再度コンテナを専用コンテナ車に積み替えて受入先まで輸送します。
本工事の実施については東京都が作成した「ＴＤＭ東京行動プラン」に基づき東京都、日本貨物鉄道株式会社の協力のもと実施されました。

【施策の実施状況・イメージ図】



平成１３年度輸送実績
６０，０００m3

【効果】
ダンプトラック（１０ｔ）に換算して約9,780台相当分の大型自動車交通量を削減し、ＣＯ２、　ＮＯｘ発生量の削減と交通渋滞の緩和に効果があります。
また輸送コストについては約３割程度の　コスト縮減が図られました。（195百万円削減）